



# 学校だより

令和6年10月29日 11月号 岩国市立岩国小学校



## 子どもと大人の熟議を通し、よりよい学校を目指して

早いもので、2学期の折り返し地点を迎えようとしています。10月に入り、子どもたちは、読書感想画を描いたり、高学年は通信陸上記録会の練習をしたりと、芸術やスポーツの秋を楽しんでいます。秋が深まるこの時期、自分なりの秋をしっかりと楽しんでほしいものです。

さて、10月8日の第2回学校運営協議会は、児童の代表委員会（4～6年のクラス代表、各委員会の委員長、運営委員会が参加）に学校運営協議会委員、地域住民、保護者などが加わり、子どもと大人の熟議を行いました。

事前に各学級では、岩国小のよいところ、みんなでよくしたいところ、どんなことをしてみたいかなどを話し合い、熟議に臨みました。「岩国小がもっとよくなるためにできることを考えよう」というテーマに対し、活発な意見交換が行われました。熟議に参加した子どもたちは、地域住民などの大人との熟議は初めてにもかかわらず、自分の思いや考えを素直な表現で伝えたり、大人の考えをしっかりと聞いたり、真剣にテーマに迫る話し合いをすることができました。大人との関わりはたいへん重要で、違う視点に気付いたり、大人からの誉め言葉で、自己有用感や自己肯定感が高まったりと、様々な効果が期待できます。

1学期には、チャレンジ目標達成のため、運営委員会と生活委員会が合同で挨拶運動を行いました。今回の熟議が児童の主体的な取組につながることを期待しています。



## 自分のことを相手に伝える言葉の大切さ

10月17日の人権参観日、人権教育講演会に多数御参加いただき、ありがとうございました。人権教育講演会では、6年生を対象に、岩国人権擁護委員の山本和彦様が、「いじめゼロプロジェクト『大切なことば』『心』」と題し、講演をしてくださいました。

一人ひとりがかげがえのない存在であること、自分と同じように周りの人も「大切な人」であること、一人ひとり違ってよいこと、自分のことを相手に伝える言葉の大切さなど、具体的な事例を交えながら、分かりやすくお話をしてくださいました。参加した6年生は、それぞれ感じたこと、考えたことは違うと思いますが、心に残る講演会になったことと思います。山本様から、講演の最後に、以下のようなメッセージがありましたので御紹介します。



優しい心もち、互いに助け合い、相手を思う心とありがとうの言葉（心）で、学校生活を楽しくください。夢のため、一つ一つのことを頑張ってください。思いやりの優しい心には、輝く明日が必ずやってきます。皆さんは「岩国市の宝」「山口県の宝」「日本の宝」。一人ひとりが大切な人なのでありますから…

## 4年生が「岩国市玖南地区小学校音楽会」に参加

10月30日に岩国市民文化会館で開催される「岩国市玖南地区小学校音楽会」に、本校4年生が参加します。これまで、音楽の時間はもちろん、家庭でも練習し、本番に備えてきました。今年度は、著名な指揮者である村上謙一郎様にも御指導をいただきました。リコーダー奏「花は咲く」と合唱「明日もきっと」を披露します。



【写真】

10月25日  
リハーサルの様子

令和6年度チャレンジ目標 ○ニコニコあいさつ ○テクテクろうか ○モクモクそうじ